

- 校務分掌部の反省
 - ・ 学期ごと
 - ・ 年度ごと
- 児童生徒の実態
 - ・ 各種検査の結果
 - ・ 日常の様子
- 保護者・地域の意見
- その他

令和4(2022)年度
日向市立東郷学園・坪谷小学校
小中一貫教育グランドデザイン

- 学校評価
- アンケートの結果
 - ・ 児童生徒
 - ・ 保護者
 - 学校の自己評価・改善策
 - 学校運営協議会委員の意見

目 標	知 (進路学習部)	徳 (生徒指導部)	体 (保体安全部)	地域 (教務研究部)
	■ 学習指導や読書の推進を通して、読む力と豊かな心を育てます。	■ 自己有用感をもった児童生徒を育てます。	■ 心身の健康の保持増進ができる児童生徒を育てます。	■ 家庭・地域と目標を共有し、郷育を推進します。

具 体 的 取 組	<p>1 読書の習慣化を図り、自分の考えをわかりやすく伝える力を育てます。</p> <p>① 朝読書の取組 (1～8年)</p> <p>② 毎日読書の推進</p> <p>③ 読書通帳の活用</p> <p>2 家庭学習の習慣化を図り、自ら学ぶ力を育てます。</p> <p>④ 学習の見届け (小学部)</p> <p>⑤ テスト前学習計画表の作成と見届け (中学部)</p> <p>⑥ 「みんなく」(みんなで宅習を見守ろう)の取組</p> <p>3 学習訓練の徹底を図り、学ぶ姿勢を育てます。</p> <p>⑦ 「学習の約束」の徹底 (1分前着席・返事・立腰)</p>	<p>◎ 当番や係活動・委員会活動を自主的に行い、充実感を味わえる児童生徒を育てます。</p> <p>1 身なりを整え、あいさつができ、無言清掃を行う児童生徒を育てます。</p> <p>① 児童生徒自身で身なりを整える体制の整備</p> <p>② コロナ禍でも可能なあいさつ運動の実施</p> <p>③ 清掃活動を通したきれいな学校づくりの推進</p> <p>2 時間を大切にする児童生徒を育てます。</p> <p>④ 登下校時刻を守る。</p> <p>⑤ 授業開始・終了時刻を守る。</p>	<p>1 体力向上に関する取組や食育を通してたくましい体づくりに務める児童生徒を育てます。</p> <p>① 体力向上プランの作成・実践</p> <p>② 食に関する指導全体計画の実践と見直し</p> <p>2 「早寝・早起き・朝ご飯」や「メディアコントロール」などの生活リズムを整え、健康の増進に務める児童生徒を育てます。</p> <p>③ 健康カレンダーの作成・実践</p> <p>④ 家庭と連携したメディアコントロールの取組</p>	<p>1 地域と連携しながら、あいさつ運動・安全教育を実施します。</p> <p>① まちづくり協議会と連携したあいさつ標語作成</p> <p>② いのちの教育週間、人権週間等を活用したいのちを大切にする取組</p> <p>③ 若竹集会を軸とした交通指導</p> <p>2 地域の素材・人材を生かした体験活動及びキャリア教育を実施します。</p> <p>④ 生活科や総合的な学習の時間を中心とした積極的な体験活動の実施</p> <p>⑤ 出前授業・よのなか教室の実施</p>
-----------	--	--	---	---

結 果	<p>① 中学部は、個人差はあるものの週2回の読書ができています。小学部は定着してきました。</p> <p>② 保護者のアンケートからは、実践できていない様子が伺える。家庭での読書の習慣が確立されていないのではないか。中学部は、部活動や学習に費やす時間も多いため毎日の読書時間は確保が困難なようだ。</p> <p>③ 読書通帳に記入することで徐々に増える読書量を確認することができるため、積極的な活用が見られる。</p> <p>④ 学習の見届けは、毎日学級担任が行っている。</p> <p>⑤ これまでに3回取り組んでいる。</p> <p>⑥ 家庭学習に対する意識を高めることにつながっている。</p> <p>⑦ 学年の発達の段階に応じた指導ができています。</p>	<p>① 昨年度、校則の見直しを行ったが、児童生徒とも、季節や活動に合った身なりを整えることができていた。</p> <p>② コロナ禍ではあったが、小学部は委員会活動の一環として、中学部は部活動生を中心としたあいさつ運動を実施することができた。</p> <p>③ 無言清掃や気づきの清掃等に取り組みながら、きれいな学校づくりを進めることができた。</p> <p>④ 特定の児童生徒が、登校時刻に間に合わないことがあった。また、自力登校ができない児童生徒も増えてきた。</p> <p>⑤ 小学部、中学部とも、授業開始、授業終了の時刻を守ることができた。</p>	<p>① 体力向上プランを作成し、課題解決のための実践に取り組むことができた。しかし、コロナ感染予防のため活動が制限されたり、日常の生活様式が変化しているため、体力向上につながったとは言えない。</p> <p>② 食に関する指導全体計画の実践と見直しを行うことができた。</p> <p>③ 健康カレンダーを作成し、実践することができた。</p> <p>④ 昨年度からメディアコントロールについて取り組んでいる。中学部のテスト前日に設定し3回取り組むことができた。一定の成果をあげることができた。</p>	<p>① あいさつ標語を全校児童生徒で作成し、優秀な作品については表彰を行った。児童生徒があいさつの大切さを学ぶ取組である。また、校門や生徒玄関前でのあいさつ運動を行うことができた。</p> <p>② 実施することができた。</p> <p>③ 若竹集会では、交通安全に対する意識を高揚することができた。</p> <p>④ 小学部では、さつまいもやもち米などの栽培を行った。中学部では、まちづくり協議会と連携しカモミールを使ったドーナツ作りや清掃活動を実施することができた。また、今年度より校内でカモミールの栽培も行うことができた。</p> <p>⑤ 出前授業については、中止あるいは延期したものもあったが、よのなか教室については、予定通り実施することができた。</p>
-----	---	---	---	--

改 善 策	<p>② 引き続き、毎日読書をする習慣付けを行う。また、学校通信や学級通信、学級懇談等で保護者向けに取組の様子を紹介する。</p> <p>①③④⑤⑥⑦ 一定の成果が見られる。今後とも取組を継続していく。</p>	<p>② コロナ禍の中でも可能なあいさつ運動について模索していく。</p> <p>④ 家庭と連携したり、小学部の登校班会で指導したりして時間を守って安全に登校できるよう指導していく。</p> <p>①③⑤ 一定の成果が見られる。今後とも取組を継続していく。</p>	<p>① コロナ感染予防のため、体育学習にも年間計画変更等の行動制限が生じた。今後コロナの状況も見極めながら可能な活動を実施し、体力の向上につなげ、特に県平均を下回る項目の実態改善につなげていきたい。</p> <p>④ 現時点で3回のメディアコントロール週間の取組を実施した。集計結果からは、各家庭で、各学部ごとの取組や各家庭のきまりを実践することができている。今後は限定された時期だけではなく日常の活動となるように進めていきたい。</p> <p>②③ 計画的に実践できている。</p>	<p>① コロナの状況も踏まえながら、その時点で実施可能なあいさつ運動に取り組む。</p> <p>②③④⑤ 天候やコロナ感染予防の状況にあわせ平日や活動内容の変更を行いながら、今後も活動を継続していく。</p>
-------	---	--	---	---

評価	A (B) C	A (B) C	A (B) C	A (B) C
学校運営協議会委員より	<ul style="list-style-type: none"> ○ 読書についてはよく読書をする子どもとしない子どもの差があると思います。 ○ 読書の習慣は小学部から身に付けることが必要だと思う。児童が興味をもちやすいマンガを原作とした小説を多く取り入れてはどうか？ ○ 毎日の読書の習慣化はなかなか難しいところですが、継続は力になっていくと思います。読書量が読み解く力に繋がっていきける工夫があるともっと良い取組になると思います。 ○ 児童生徒の基礎力を育成する取組として評価できます。 ○ 進歩が少しずつ見られるが中学部の部活動等があるためになかなか厳しい課題となっているのか？ ○ 小学部の子どもたちを見ると、読書の習慣は身につけてきているように見受けられる。 ○ 家庭内の読書については、読書通帳の活用を更に続けて家庭内読書の向上を図っていただきたい。 ○ 家庭での読書の習慣は、低学年時に身につかなければ、だんだん難しくなっていくと思います。読書の大切さを児童にも保護者の方へも引き続き伝えていくことでしょうか。 ○ 読書通帳を活用できつつあるのはその先へとつながるといいと思います。 ○ 「みんなく」も家庭学習への意識を高めることにつながっているのは成果だと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもたちの活動だけではなく、大人も一緒に高めあうことが子どもたちの自己有用感を育てていく活動になるのではないかと思います。その部分が評価できる体制ができると、より効果的な活動になるのではないかと思います。 ○ 身なりについてはきちんとできている。 ○ 今までも身なりを整えていない生徒さんを見かけたことはありませんでしたが、校則の見直し後も一年中を通して身なりを整えることができているのは成果です。 ○ 子どもたちの実施したこと（挨拶、清掃活動）に対して、その時家族や地域住民、先生方はどう答えたのだろうか。挨拶を返したのか、誉めたのか、注意したのか、無視したのか。 ○ あいさつは、登校時はできていると感じましたが、下校時家に帰ってから出会うときはまだまだだと感じます。 ○ 学級内でのあいさつはできている様だが、地域になるとそこまでは実行しているのか疑問である。 ○ あいさつについては特に中学部の生徒は姿を見かけると自らしっかりとあいさつしてくる。小学部の高学年の児童のあいさつができていない。あいさつを交わす時にも相手の目をしっかりと見ていない。 ○ あいさつは、登校時はできていると感じましたが、下校時家に帰ってから出会うときはまだまだだと感じます。 ○ 無言清掃は児童生徒に根付いてきています。成果だと思います。 ○ 小学部、中学部とも、保護者の送迎が目立つ。自力登校の児童生徒への影響があるのでは？ ○ 朝の登校時には、班長を中心にきまりを守っていると思います。下校時には遊びながら帰っている子どもを見かけます。 ○ ④家庭に問題があるのかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目標に近い成果はできている様で指導の結果だと思う。ありがとうございます。 ○ コロナ禍の中では思うように活動ができなかったと思うが、運動会では小学部から中学部まで一緒になって頑張っている姿が見られ本当に感動した。 ○ 「体力向上プラン」や「食に対する指導全体計画」等の様式を見せていただけると評価がしやすいです。 ○ 日常生活において子どもたちが体を動かす機会が少なくなってきた。さらに登下校の送迎により、歩くことも少なくなっていることが要因のひとつだと思う。持久走大会を見ると、最後まで頑張って完走していた。 ○ 今年度は今までよりずっとコロナに感染する児童生徒さんも増えたことと察します。なかなか体力向上に取り組むことも難しかったと思います。 ○ メディアコントロールについては、家庭との連携なしでは取り組めない事項だと思います。3回取り組まれ、それなりの結果を得られたことは成果だと思います。 ○ テスト前のメディアコントロールについては、せざる負えない状況のためという一面もあるのではないかと思いますので、日常的な実施を試みることは良い取組だと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ あいさつ運動の標語は、家庭であいさつについて考える機会にもなり良いと思う。校門、生徒玄関前であいさつ運動も素晴らしい取組だと思う。 ○ 地域でのあいさつは私の孫を含めて、声が小さい。また遠慮ぎみである。大きい声を期待したい。 ○ 小学部では、朝の登校時に大きな声であいさつをする子と、こちらから声をかけないと返ってこない子がいるようです。中学部においては、前に比べたらあいさつをするようになったと思います。 ○ 市内でもまち協とこれほど連携できている学校は少ない。生徒の意見、アイデア等積極的に出せていければ自己有用感の醸成にも繋がっていくのではないのでしょうか。 ○ まち協と協力して地域について色々と学んでいることは周知しているところです。学校側としては、配慮が大変だと思いますが、今後ともよろしく願います。 ○ 「徳」の部分と重複するところもあり、地域住民の子どもたちとのかかわり方が大事になっていく活動だと思います。その中で、まちづくり協議会等の地域団体や個人とつながっていく活動は児童生徒の社会性を伸ばし、郷育につながるものだと思います。 ○ コロナ禍で制限もあって活動できない場面もあったかと思いますが、まちづくり協議会との連携活動は、地域との繋がった活動となり評価できると思います。 ○ 地域と学校が密に繋がった地域連携がよく取れている。特に中学部の生徒が取り組むカモミールドーナツ作りや百姓一揆の碑の清掃活動は県外のCS活動の先進事例と言える。 ○ 地域での子どもの声が聞こえてこない。外出がコロナ感染拡大のため困難であるのかな？さびしいです。
<p>※ 評価表について 評議委員は子どもたちの様子を、登下校、参観の日程度でしか見る機会があまりない。保護者及び先生の評価についても評価表に記載していただけるとありがたい。</p> <p>※ 全体として、ここに記載されていないだけかもしれませんが、「知」「徳」「体」「地域」の活動を行ったことによる成功体験を評価する工夫（個人やクラスとしての表彰等）を実施するなど、児童生徒の自信につながり、家族や地域にとっての目標にもなるのではないかと思います。</p>				